

CURRICULUM

1年次から6年次まで連携したカリキュラムで
質の高い医師・医学者を育成

縦断型プログラム

累積型プログラム

臨床実習

1年次

科学的探求
行動科学
医療情報科学・データサイエンス 人工知能概論
外国語教育

医学基盤プログラム

医学統合プログラム1
医学実地演習1
基礎科学特別講義
医学概論
克己殉公・人文社会科学

生命科学基礎

物理 化学 生物

生命科学概論

物理 化学 生物

教養教育

数学 スポーツ科学 統計学 運動生理学

2年次

社会医学

疫学と予防医学 社会・環境と健康 保健医療福祉・介護の制度
診療情報と諸証明書 生活習慣とリスク 地域医療・地域保健 死と法

医学統合プログラム2

医学実地演習2
医事法学
医療福祉論 医療倫理学

個体の構成と機能

細胞の構造と機能 刺激受容と情報伝達 生体の構成物質
組織・臓器の発生、構造と機能1 恒常性の調節機構 組織・臓器の発生、構造と機能2
個体の正常構造と機能1 個体の正常構造と機能2

個体の反応

薬物・放射線と生体 生体と微生物
病因と病態 免疫と生体防御

3年次

医学統合プログラム3・
生体システムの概念

医学実地演習3
症候学 臨床医学概論
国際保健 医学工学

器官の正常と異常・診断と治療

循環器 神経 呼吸器
感染症 消化器 腎・泌尿器
放射線 内分泌・代謝 血液
アレルギー・膠原病 腫瘍

4年次

共用試験 (CBT・臨床実習前OSCE)

リハビリテーション 形成・再建・再生・移植

医療安全 救急医学
感染防御 栄養
プロフェッショナリズム
医学統合プログラム4
基本臨床実習

生殖機能・妊娠と分娩 成長と発達・加齢と老化

乳房 遺伝医療 運動・感覚
頭頸部・耳鼻咽喉科 精神医学
麻酔 皮膚 眼科

クリニカル・クラークシップ (CC)

循環器内科学	内分泌外科学	精神医学
神経内科学	呼吸器外科学	放射線医学
腎臓内科学	心臓血管外科学	麻酔科学
アレルギー・膠原病内科学	泌尿器科学	耳鼻咽喉科学
血液内科学	皮膚科学	眼科学
消化器内科学	形成外科学	病理学
内分泌糖尿病代謝内科学	整形外科	リハビリテーション学
呼吸器内科学	脳神経外科学	救急医学
消化器外科学	産婦人科学	集中治療医学
乳腺外科学	小児科学	総合医療学
		地域医療

6年次

総合試験 I・II・III・IV

臨床実習後 OSCE

社会医学

社会医学総括

医学基盤プログラム

CC総括

選択
クリニカル・
クラークシップ

卒業時

医師国家試験

克己殉公の精神を受け継ぐ倫理観とプロフェッショナリズム

コミュニケーション能力

統合された医学知識

実践的診療能力

科学的研究心と思考能力

人々の健康の維持と増進を通じた社会貢献

次世代の育成と教育能力

豊かな人間性と国際性

ミッション

克己殉公の精神 ・ 愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成

令和5年度入学生から導入の新カリキュラム

新しいカリキュラムは、知識を積み重ねていく累積型プログラムと学年を超えて継続する縦断型プログラムが大きな特徴です。学問的知識の体系的という観点のみではなく、医師に求められる人材像との関係で整理した教育内容を体系的に学ぶ統合型カリキュラムへ転換し、医療情報科学を重視するためAIや数理・データサイエンス教育なども十分に盛り込んでいます。

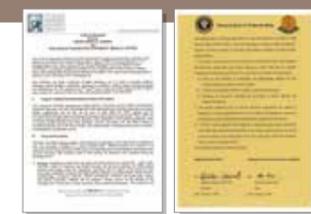
また過密な講義スケジュールの軽減のために講義時間を3割程度削減、研究配属期間の延長などの個別化教育の拡充、高機能シミュレーターとICTを活用した遠隔PBL(課題解決型学習)など、ウィズ・ポストコロナ時代を見据えた教育改革を行いました。医学教育におけるテクノロジー革命を断行すると同時に、倫理教育の重要性も再認識すべきときに来ていると考えています。

米国医師国家試験の受験資格に対応した国際認証を受けたカリキュラム



本学のカリキュラムは、米国医師国家試験の受験資格を審査するECFMGが定めた医学教育の国際的認証を受けています。

世界で活躍できる医師・医学者をを目指すための海外クリニカル・クラークシップ制度



本学の6年次の選択臨床実習(クリニカル・クラークシップ)は、米国など8つの海外提携大学をはじめ、海外研究機関などで行うことも可能です。